

## 巻頭言

地域銀行としての使命に今一度立ち返る

(一社)九州経済連合会 副会長・佐賀地域委員長 坂井 秀明〔株佐賀銀行 頭取〕… 1

## 九経連活動報告

社会経済活動の再活性化への加速と、「グリーン社会の実現」に資する取り組み推進を確認

第40回九州地域戦略会議… 2

「未来を拓く強靱で活力溢れる地域の創生」を統一テーマに意見交換

西日本経済協議会 第63回総会… 4

九州・山口から世界に羽ばたけ！

～「九州・山口ベンチャーマーケット(KVM)2021」を開催～ …… 6

## 日誌(10月)

福岡市天神で開催のマルシェに参加～農業女子と共に生産者支援！～ …… 9

## 秋の叙勲・褒章受章者

… 9

## 講演要旨

農業現場の現状とこれからの日本農業

(有)木之内農園 代表取締役会長／東海大学 経営学部長 木之内 均… 10

着ぐるみ工場のダイバーシティ経営

～あたたかいキャラクターと幸せコミュニティを生み続ける女子力の現場～

KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 加納 ひろみ… 11

## 寄稿

コロナ禍におけるグローバル・バリューチェーンを取り巻く環境変化

(株)国際協力銀行(JBIC)大阪支店次長 石川 輝(京都文教大学 総合社会学部 非常勤講師)… 12

## 会員紹介

拓南製鐵株式会社 …… 16

## 沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～ 首里城公園 …… 17

## 九州観光推進機構ニュース

「旅の御朱印帳 九州駅印帳」開始しました(10/15～)

旅行者に人気のモデルコース

～⑥ ハウステンボスと長崎市をめぐる2泊3日のロマンチック旅～ …… 18

## 九州・山口地域動向

… 20

## 表紙説明・スケジュール(12月)・新入会員企業(10月)

… 23

# 地域銀行としての使命に 今一度立ち返る



(一社)九州経済連合会 副会長・佐賀地域委員長

## 坂井 秀明

〔株佐賀銀行 頭取〕

今夏、九州地方を襲った豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。私どもの営業基盤である佐賀、福岡、長崎の各県においても甚大な被害が発生しており、地域金融機関としてお客さまへの支援を継続してまいる所存です。

さて、今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」では、「日本資本主義の父」として新一万円札の顔にも選ばれた渋沢栄一氏の生涯が描かれました。氏の著書「論語と算盤」の一節に、「一個人のみ大富豪になっても、社会の多数がために貧困に陥るような事業であったならば、どんなものであろうか。如何にその人が富を積んでも、その幸福は継続されない」と述べられており、経済と社会幸福の両立の重要性について説かれています。没後90年となった現代において、「サステナブル(持続可能)な社会の構築」が求められていますが、氏の教えに通ずるものを感じます。

九州経済連合会においては、創立60周年となる今年4月、「九州将来ビジョン2030」を示し「新たな価値創出を促す10の課題」を掲げました。九州経済の発展とともに幸せコミュニティの実現に向けたアクションプランを定めたものです。麻生前会長が掲げられた「九州から日本を動かす」というミッションを継承された倉富会長のもと、九州がひとつとなり地域を元気にしていく一助となれるよう各

活動に邁進してまいります。

先の渋沢栄一氏が日本で最初の国立銀行を設立したのは、約150年前の1873年ですが、私ども佐賀銀行は2022年3月に創業140周年を迎えます。

弊行では来年度にスタートする第17次中期経営計画の3年間を、節目となる150周年に向けて弊行の存在意義と価値を不動なものにする重要な期間と位置づけたいと考えております。コーポレートスローガンである「このまちで、あなたと」の理念のもと、お客さま起点の金融サービスを提供する態勢を確立してまいります。

また、私どもが地域社会とともにあり、地域の発展なくして当行グループの発展なしという強い覚悟を持って今一度地域銀行としての使命に立ち返るとともに、「サステナブルなビジネスモデルの構築」をテーマに、地域社会や経済に貢献し続ける地域銀行を目指し、役員一同より一層の努力を続けてまいります。

日本で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されて間もなく2年が経ちますが、来年はコロナ禍がもたらした混乱が終息することを切に願います。そして、それは新たな働き方・生き方の本格的な始まりでもあると考えます。

このような時代だからこそ、企業が地域と助け合いながら共生し、目指すべき姿への共感を集め、共に新たな価値を創りあげていく「共生・共感・共創」の精神で、官民一体となった九州・山口のパートナーシップを築き、皆さまとともによりよい未来を切り拓いていきたいと考えております。

九経連の副会長として九州・山口地区の経済発展と幸せコミュニティの構築に向け、実効性の高いサポートを展開してまいりたいと存じますので、皆さまのご支援をよろしくお願ひいたします。

# 社会経済活動の再活性化への加速と、「グリーン社会の実現」に資する取り組み推進を確認

と き 10月22日(金)

ところ 大分県別府市・杉乃井ホテル

出席者 16名

第40回九州地域戦略会議

(九州地方知事会、九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会)

官民が一体となって、九州・山口地域の発展戦略を協議し、具体的な施策を推進する九州地域戦略会議(共同議長:九州地方知事会・広瀬勝貞会長、九経連・倉富純男会長)の会合が別府市で開催され、①新型コロナウイルス感染症の検証と今後の対応②九州創生(JEWELS+)の推進について意見交換を行い、「グリーン社会」への取り組みを推進することを確認した。



③元気づくり推進、の3点を重点的に取り組むことを盛り込んだ「九州創生元気づくり宣言」(別掲)を採択した。

### 3. 決算・予算、役員選任

「2020年度決算・会計監査」「2021年度補正予算」「2022年度予算」および「役員(監事)選任」の報告・提案があり、原案どおり了承された。

## 【審議事項】

### 1. 新型コロナウイルス感染症の検証と今後の対応

社会経済活動の再活性化に向け、反転攻勢をかけるべく、現状や課題、今後の取り組みなどについて、これまでのコロナ対応を踏まえ、委員が自由に意見発表し、議論を行った。

### 2. 九州創生(JEWELS+)の推進

長引くコロナ禍による社会変容(地域経済疲弊、地方回帰機運、分散型社会構築、デジタル化加速など)を念頭に、九州創生(JEWELS+)を深化させる各団体の取り組みについて議論した後、広瀬議長より「グリーン社会の実現」に資する新たな取り組みを各PTで検討し、来年春の戦略会議で議論することが提案され、了承された。

以上の意見交換を踏まえ、①感染対策強化②感染状況に応じた社会経済活動の再活性化

## 【報告事項】

1. ツール・ド・九州
2. 九州・長崎IR
3. 再生可能エネルギー産業化推進委員会(活動報告および事業計画)
4. 九州・沖縄文化力推進会議(事業計画)
5. 70歳現役社会の実現に向けた連携



倉富純男(左)、広瀬勝貞(右)両共同議長による共同記者会見

## 九州創生元気づくり宣言

～「九州はひとつ」の思いを胸に～

新型コロナウイルス感染症は、驚異的な感染力を有するデルタ株の出現により爆発的な感染拡大を引き起こした。九州・山口地域においても、第5波により新規感染者数は全ての県で最多となるなど、深刻な医療体制の逼迫に直面した。その後感染者数は急速に減少し、医療提供体制への負荷は軽減されているが、これまでの対策をしっかりと検証し、その知見を集積・共有した上で、危機管理としては第6波を想定し、感染拡大防止に万全を期していかなければならない。

一方、国においては、ワクチン・検査パッケージの活用等により、飲食やイベント、人の移動などこれまで要請してきた日常生活の制限を段階的に緩和する技術実証が行われている。このような取組をしっかりと進めながら、成長センターであるアジアに近いといった九州・山口地域の強みを最大限に活かしつつ、社会経済活動の再活性化に向け、反転攻勢をかけていかなければならない。

ウィズコロナ・ポストコロナに向け、世の中が本格的に動き始めた今こそ、「九州はひとつ」の思いを胸に、一丸となって以下の取組を重点的に推し進め、九州・山口の新たな未来を切り拓いていくことを宣言する。

### ○オール九州で新型コロナウイルス感染対策を強化！

- ・これまでの対策等の十分な効果検証及び得られた知見の蓄積・共有
- ・不織布マスクの正しい着用やこまめかつ十分な換気など官民一体となった基本的な感染防止策の徹底

- ・検査体制の強化・拡充と積極的疫学調査の徹底による早期封じ込め
- ・感染再拡大を見据えた病床・医療従事者など医療提供体制の確保
- ・若年層におけるワクチン接種の促進、追加接種体制の確保
- ・飲食店等における第三者認証制度の推進
- 感染状況に応じた社会経済活動の再活性化！
  - ・新型コロナに伴う経済的困窮者に対する生活支援
  - ・経済停滞で落ち込んだ雇用の回復・維持
  - ・切れ目のない需要喚起、思い切った消費拡大策の推進
  - ・ワクチン・検査パッケージの活用などウィズコロナに対応した新たな社会経済活動スタイルの確立
- 九州の未来を切り拓く元気づくりの推進！
  - ・観光とまちづくりの一体的な推進など新たな観光戦略の展開  
(スポーツ施設・世界遺産など地域資源の活用や魅力の再発見、インバウンド需要回復を見据えた九州・長崎IR、ツール・ド・九州など、地域一体となった取組の推進)
  - ・地域課題の解決に向けたDXの推進
  - ・宇宙、バイオ、水中ロボットなど九州の未来を支える成長産業の創出
  - ・日本の災害復興をリードする新たな全国モデルの推進
  - ・オール九州によるグリーン社会の実現に向けた取組の推進

## 出席者名簿(敬称略)

### 【九州地方知事会】

会長 広瀬 勝貞(大分県知事)〈共同議長〉  
副会長 中村 法道(長崎県知事)  
服部誠太郎(福岡県知事)  
山口 祥義(佐賀県知事)〈監事〉  
蒲島 郁夫(熊本県知事)  
河野 俊嗣(宮崎県知事)  
塩田 康一(鹿児島県知事)  
村岡 嗣政(山口県知事)  
謝花喜一郎(沖縄県副知事)※代理

### 【(一社)九州経済連合会】

会長 倉富 純男(西日本鉄道(株)会長)〈共同議長〉  
副会長 唐池 恒二(九州旅客鉄道(株)会長)  
副会長 永田 理(トヨタ自動車九州(株)社長)  
理事 梶原 全裕(西日本電信電話(株)執行役員)

### 【九州商工会議所連合会】

会長 谷川 浩道(株)西日本シティ銀行 会長  
副会長 吉村 恭彰(株)アステム 会長

### 【九州経済同友会】

代表委員 青柳 俊彦(九州旅客鉄道(株)社長)

### 【九州経営者協会】

会長 倉富 純男(西日本鉄道(株)会長)※九経連会長兼務

【経営管理室 森山】



# 「未来を拓く強靱で活力溢れる地域の創生」を 統一テーマに意見交換

と き 10月20日(水)

ところ 熊本市・熊本ホテルキャッスル

出席者 約170名

西日本経済協議会 第63回総会

西日本の6つの経済連合会(中部、北陸、関西、中国、四国、九州)で構成する西日本経済協議会の第63回総会を、今年度は本会の幹事により熊本市で開催した。

総会には、各経済連合会の会長や会員企業の代表者など約170名が出席、統一テーマ「未来を拓く強靱で活力溢れる地域の創生～行動する西日本から変革を～」に基づき、各経済連合会の代表による意見交換を行い、総会決議を採択した。



## 1. 開会挨拶(九州経済連合会 倉富純男会長)

コロナ禍により日本経済は依然として厳しい状況にあるが、ワクチン接種も進み、ここからV字回復に向けたスピードをいかに加速していくかが重要。

国が掲げる「600兆円経済の早期実現」を踏まえ、西日本地域からはGRP300兆円を目指し、地方発の「稼ぐ力」の向上や、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み、観光振興や地域の魅力向上などさまざまな活動に取り組んでいる。

また、社会基盤の整備や規制緩和・税制改革といった国の施策の着実な実行も、地方創生には不可欠である。

さらに、各経済連合会の共通する課題については、分野別の分科会を設け地域間で連携した取り組みを進めており、より大きな効果を図りたいと考えている。

## 2. 各地経済連合会からの意見

(一社)中国経済連合会「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地域の創生」(荻田知英会長)

ウィズコロナ、ポストコロナの中で活力に溢れ豊かさが実感できる中国地域の創生に向

けた活動に取り組んでいる。

地域産業の競争力強化に向けたDXの推進では、各企業におけるデジタル化の促進とデジタル人材の育成・確保が不可欠。

また、カーボンニュートラル実現に向けては、技術革新を進めるための国家戦略と実現可能なロードマップの策定、大規模な財政支援などを政府に求めていくこととしている。

さらに、地方創生に向けた地域の魅力づくりでは、自治体と連携した中山間地域の活性化や、交流人口を拡大させる観光振興などを通じた経済活性化を進めている。

北陸経済連合会『「ウィズコロナ・ポストコロナ」の中で『スマートリージョン北陸』を目指して』(金井豊会長)

2019年公表の「北陸近未来ビジョン」における「一人あたりGRP水準の引き上げ」と「多様性と一体性の両立」という2つの目標の達成に向け、3つの柱からなるアクションプランを展開している。

1つ目は社会基盤整備の促進で、特に北陸新幹線の大阪までの早期全線開業については関西経済界と連携して取り組みを進めている。

2つ目は企業の労働生産性の向上と成長で、デジタル化の促進や、産学官連携による人材育成、新事業創出などに取り組んでいる。

3つ目は「ダイバーシティ&インクルージョン」ブランド化の推進で、特に「北陸は女性が働きやすい地域」とのブランドを確立したいと考えている。

(一社)中部経済連合会「地域力の持続的向上に向けて」(水野明久会長)

防災、減災に資する「国土強靱化税制」については、西経協に北海道、東北を加えた8

経済連合会で要望活動やアンケート調査等を実施。予算、税制面で支援する方向性を得て現状に風穴を開ける手ごたえを感じている。

中部経済連合会は創立70周年を迎え、公表した中期活動指針『ACTION2025』の中で、地域力を「活気に溢れ、人を惹き付ける力」と定義、中部圏の目指す将来像を「高い『地域力』を誇る圏域」とした。

特に今後5年間で重点的に取り組むポイントとして、産学官の広域連携によるデジタル化の推進、ナゴヤイノベーションズガレージの活用を通じたイノベーションの活発化、中部国際空港第二滑走路の実現に代表される交通ネットワークの充実、などを掲げている。

#### (公社) 関西経済連合会「ファーストペンギンの心意気で未来を拓く」(松本正義会長)

昨年末策定した「関西ビジョン2030」では、「先駆ける関西、ファーストペンギンの心意気」をコンセプトに、取り組みの方向性を示した。

主なものとして、「アジア・ビジネス創出プラットフォーム」に代表される、アジアをはじめとする世界との双方向のつながりの強化、道州制実現につながる地方分権・広域行政の促進、民の力を効果的に発揮する仕組みづくりなどがある。

また、カーボンニュートラルの実現に向け、西経協6経済連合会の連名で今年3月に「エネルギー基本計画の見直しに向けた意見」を公表した。

「大阪・関西万博」についても、ナショナルプロジェクトとして成功させるため、全国的な機運醸成に努めてまいりたい。

#### 四国経済連合会「ビジョンを共有し自助・共助で四国創生を目指す」(佐伯勇人会長)

四経連では、従来からの調査・提言活動にとどまらず、地方創生に向けて実践的に行動する「アクションタンク」へと脱皮すべく取り組みを進めており、「自助・共助」の精神の下、成果に結びつけたいと考えている。

まず、「四国の目指すべき将来像の策定」として、20年程度先を念頭に置いた「四国のありたい姿」の来年3月の公表を目指している。

次に、産学連携による産業振興への取り組みとして、地元大学との連携によるマッチングイベントの開催などを行っている。また、産学連携人材や事業可能性検証のための

「ギャップ資金」の不足に対しては、国に問題提起する必要があると考えている。

四国一体となった観光振興の取り組みについては、四国ツーリズム創造機構などと協働で「四国の観光ビジョン」を策定、四国一体となった周遊型広域観光を目指している。

#### (一社) 九州経済連合会「挑戦の風を九州から吹かせ、日本を元気に」(柴戸隆成副会長)

創立60周年を迎えたことを機に、将来のありたい姿を描き実現への行動計画を示した「九州将来ビジョン2030」を策定した。この中で、「ありたい姿実現に向けたチャレンジ」として4つの柱を立てている。

1つ目の「リーディング産業育成・誘致」では、農林水産業における輸出拡大や地産地消の推進、観光分野におけるツール・ド・九州の2023年第1回開催などを掲げている。2つ目の「グリーン」では、ESG投資の呼び込みや再生可能エネルギーの産業化推進を、3つ目の「スマート・DX」では、経営層に対するDXの学びの場の提供や、官民データ連携に関する検討、4つ目の「ダイバーシティ」では、九州のありたい姿に相応しい幸せコミュニティづくりに向けた検討などを行っている。

### 3. 決議採択

各地域からの意見を踏まえ、以下を柱とする総会決議を採択し、11月17日に6経済連合会の代表者が政府等に直接要望した。

#### 未来を拓く強靱で活力溢れる地域の創生 ～行動する西日本から変革を～

- I 喫緊の新型コロナウイルス感染対策の推進
  - 1. 医療体制の強化と社会経済活動の回復
- II 強靱で活力溢れる地域の創生に向けて
  - 1. 地方における新たな成長産業の創出
  - 2. カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの推進
  - 3. 地方創生の推進と分散・分権型国づくり
  - 4. 国土強靱化に向けた社会基盤整備

※西日本経済協議会第63回総会決議の詳細については、九経連ホームページ「TOPICS」「活動報告」をご覧ください。

※当日の記念講演の要旨を11ページに掲載しています。

【地域政策部 立山】

# 九州・山口から世界に羽ばたけ！ ～「九州・山口ベンチャーマーケット (KVM) 2021」を開催～

と き 10月15日(金)

ところ 福岡市・JR九州ホール(Web併催)

出席者 430名(Web202名含む)

## 九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会

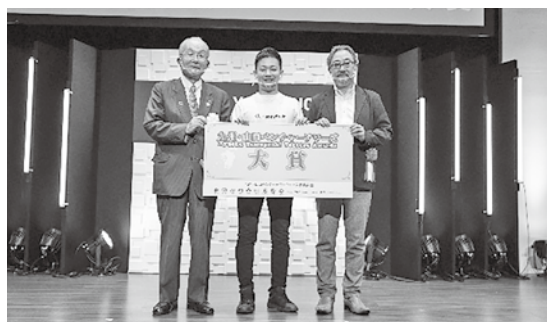
(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、  
沖縄県、山口県、九州経済連合会、九州商工会議所連合会、  
九州経済同友会、九州経営者協会、九州ニュービジネス協議会、  
福岡証券取引所、中小企業基盤整備機構九州本部)

九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会は、各県が選抜したベンチャーを集めたビジネスマッチングイベント「九州・山口ベンチャーマーケット (KVM) 2021」を開催した。

開会に際して、貫正義実行委員長より「今年度上半期の国内ベンチャーの資金調達額は、過去最高額を記録した。コロナ禍で先行きが見えない状況の中、ベンチャー企業が秘めたパワーこそが、地域社会の発展を切り拓く貴重な原動力になることを期待したい」と挨拶があった。

続いて、服部誠太郎福岡県知事による来賓挨拶の後、ピッチコンテスト「九州・山口ベンチャーアワード」が行われた。第7回を迎える今回も昨年に引き続き、スタートアップ部門(登壇企業9社)と第二創業部門(登壇企業9社)の2部門で競われ、熱戦を繰り広げる中、見事に受賞を果たしたのは以下のとおり。

### 【スタートアップ部門】



左から貫実行委員長、(株)ハッピーブレイン 池田氏、中野審査委員長

大賞	(株)ハッピーブレイン (熊本県)	障害、年齢、性別など関係なく交流できるeスポーツ
優秀賞	(株)Dessun (佐賀県)	社会貢献活動の団体とプロモーション希望の企業を結ぶマッチングプラットフォーム

地域活性化賞	(株)URAKATA (沖縄県)	キャンプ用品専門のシェアリングサービス「ソトリスト」
	(株)Smolt (宮崎県)	地域資源を活用したサクラマスのサステナブルな循環養殖
NICT賞 <small>※総務省/NICT主催「起業家万博」への挑戦権獲得</small>	(株)ベンナーズ (福岡県)	「未利用魚」を活用したお魚サブスクリプション「Fishlle! (フィッシュル)」

### 【第二創業部門】



左から貫実行委員長、(株)オーシーシー 屋比久氏、山野審査委員長

大賞	(株)オーシーシー (沖縄県)	コンテナ利用によるオールインワン海藻養殖システム
優秀賞	(株)ファインテック (福岡県)	切断面の品質を追求してあらゆる切断現場に「切断革命」を起こす
地域活性化賞	(有)鈴木組 (宮崎県)	効率よく多くの人がチョウザメ養殖を始められる仕組み作り
Forbes JAPAN賞 <small>※Forbes JAPAN主催「SMALL GIANTS AWARD 2021-2022」の出場権獲得</small>	(株)ワンチャー (大分県)	伝統工芸と身近な道具を融合させた製品開発

【産業振興部 嶋田】



6日(水) [熊本市・ザ・ニューホテル熊本]

熊本地域委員会  
出席者：41名

甲斐隆博委員長(株肥後銀行会長)の開会挨拶に続き、倉富純男会長が挨拶を行った。続いて、(株)グッデイの柳瀬隆志社長より「グッデイのデジタル経営への挑戦」と題しご講演いただいた。その後、九経連本部から「九州将来ビジョン2030と事業計画」の報告と、併せて、コロナ収束を見据え、九経連主催の会合等における今後の対応方針を報告した。

会議終了後、着席による懇親会を開催し、熊本地域の会員相互ならびに倉富会長との親睦を図った。

7日(木) [Web開催]

九州経済国際化推進機構幹事会  
出席者：43機関

2021年度事業の進捗状況(上期実績および下期計画)について事務局から報告。具体的には、新型コロナウイルス感染症の影響による計画の変更などが報告された。続いて、会員機関・支援機関から寄せられた2022年度事業に係るアンケート結果について説明を行った。

議事終了後には、経済産業省通商政策局中東アフリカ課の福島拓係長より「TICAD8に向けた今後のアフリカビジネス促進」と題しご講演いただいた。まだまだ展開の進んでいないアフリカ地域の現状やビジネス環境について学び、新たなビジネス環境検討の好機となった。

9日(土)、10日(日) [福岡市・大丸福岡天神店 パサージュ広場]  
九州深発見「九州探検隊 魅力発信マルシェ」出店

※本誌9ページに詳細を掲載

12日(火) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]

行財政委員会第3回自立型広域経済圏モデル検討WG  
出席者：11名

自立型広域経済圏モデル検討にあたり、(株)日本総合研究所の東博暢プリンシパルより「スマートシティの現状について」、Code for Kyushuの徳永美紗副代表より「市民目線で考えるデータ利活用紹介～オープンデータとシビックテック～」と題し、それぞれご講演いただいた。

その後、これらを踏まえて、オープンデータ活用による広域連携のあり方等について意見交換を行った。

14日(木) [福岡市・九経連会議室(Web併催)]

第1回農林水産委員会  
出席者：55名

平野亘也委員長(株宮崎銀行会長)の開会挨拶の後、2021年度上期の主な活動について事務局より報告。続く活動紹介で、東京九州フェリー(株)の寺田光徳取締役営業部長兼新門司支店長より、今年7月に関東と九州を直接つなぐ新設のフェリーを就航された事業内容についてご説明いただいた。

最後の講演会では、農林水産省大臣官房の秋葉一彦環境バイオマス政策課長より「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」、東海大学の木之内均経営学部長より「農業現場の現状とこれからの日本農業」と題し、それぞれご講演いただいた。

※本誌10ページに講演要旨を掲載

15日(金) [大分県湯布院町・くじゅう九電の森、大分市・昭和電工武道スポーツセンター]

農林水産委員会林業部会 現場視察会  
出席者：17名

林産業の現場の現状・課題を把握し、今後の活動の参考にすることと、川上～川下間の情報共有・連携を目的とした現場視察会を実施した。

九州林産(株)が管理する九州電力(株)社有林にてスマート林業(ドローン活用)と森林管理の視察を行い、大分県立昭和電工武道スポーツセンターの木造・木質建築を視察した。各々、質疑応答が活発に交わされ、ドローンの機能およびデータの有用性や木造建築の可能性などを学ぶ良い機会となった。参加者からは「有益であった」「また参加したい」との声をいただいた。

15日(金) [福岡市・JR九州ホール(Web併催)]

九州・山口ベンチャーマーケット(KVM)2021

※本誌6ページ「活動報告」に詳細を掲載

19日(火) [福岡市・電気ビルみらいホール]

エネルギー講演会  
出席者：92名

第1部では、気象予報士で気象環境研究所主任研究員の村山貢司氏より「地球温暖化と異常気象」をテーマに、国内外で異常気象が多発している現状や温暖化の影響、今後の気象予測とともに、エネルギー需給への影響についてもお話しいただいた。





## 福岡市天神で開催のマルシェに参加～農業女子と共に生産者支援！～

と き 10月9日(土)、10日(日)  
 ところ 福岡市・大丸福岡天神店 エルガーラ・パサージュ広場

本会は、農水産物生産者支援の一環として、(株)博多大丸の九州活性化プロジェクト「九州深発見『九州探検隊 魅力発信マルシェ』」に、農林水産省が支援する農業女子グループ「ハッピーファームいいじゃない福岡」(通称：はぴふあむ)と共に出店し、トマトの加工品やお米等を販売した(他に12自治体が出店)。

緊急事態宣言解除直後ということもあり、例年に比べて来場者数が伸び悩み(コロナ感染拡大前の天神地区2～3万人の人出に対し半分程度)、購入の決め手となる試食等によるPRも難しいことから、開始直後は売上に苦戦したが、販売をお手伝いいただいた中村学園大学の学生サークル「フード美同好会」の学生のアイデアで、明るい店舗づくり・見やすい商品陳列・トマトの帽子を付けた呼び込みを実施した効果もあり、売上を伸ばし当初の目標を達成した。

来年以降は、協働先および出店者(生産者)の九州全域への拡大を図りつつ、バス・鉄道事業者等の協力も得て貨客混載を利用した生産地からイベント会場までの輸送の検討を行うとともに、今後は協働先同士の自主的、自立的な活動の好循環につなげるべく取り組みを推進していく予定である。

【農林水産部 上原】



## 秋の叙勲・褒章受章者

秋の叙勲・褒章で、本会会員より下記の方々が受章されました。  
 心よりお慶び申し上げます。

(種類順、敬称略)

### 叙勲受章者

#### 旭日大綬章

畔柳 信雄 (株)三菱UFJ銀行 特別顧問

#### 旭日重光章

伊藤 雅俊 味の素(株) 執行役会長  
 江頭 敏明 三井住友海上火災保険(株) 特別顧問  
 張本 邦雄 TOTO(株) 相談役

#### 旭日中綬章

稲村 純三 (株)明電舎 役員顧問  
 大栗 育夫 (株)長谷工コーポレーション 相談役

#### 旭日双光章

淵本 逸雄 南海食品(株)(月揚庵) 代表取締役会長

#### 瑞宝中綬章

赤坂 裕 鹿児島工業高等専門学校 名誉教授  
 前田 芳實 鹿児島大学 名誉教授

### 褒章受章者

#### 黄綬褒章

村上 博史 (株)シモセン 代表取締役  
 疋田 智昭 鶴崎海陸運輸(株) 代表取締役社長



# 農業現場の現状と これからの日本農業

(2021年10月14日(木) 第1回農林水産委員会での講演)

(有)木之内農園 代表取締役会長  
東海大学 経営学部長

木之内 均



神奈川県生まれ。大学卒業後、熊本県で新規就農。1995年木之内農園を法人化、2004年に就農希望者の研修機関・「NPO法人九州エコファーマーズセンター」を設立。母校の大学で教壇に立ちつつ農業者の人材育成に力を入れている。

## 農業を取り巻く現状

農業の一番の問題は人である。世界で農業者が増えている国は一つもない。日本は、農業従事者の減少・高齢化が進み、60歳以上が全体の8割、39歳以下はわずか4.9%である(2020年農業センサス)。農業総産出額は8.89兆円(2019年)と9兆円を切り、生産農業所得も全体的に減少している。なぜか? 資材費などの経費高騰が原因である。例えば、露地野菜作では、粗収益は増えたが、肥料代、運送代等の高騰により、経営コストがそれ以上に増え、労働対価は下がっている(1995年1000円/h→2017年796円/h)。このような中でも、法人で成功している農業はある。葉物・キノコ等の耕種農業、鶏・養豚の畜産である。成功のポイントは、回転率が高いこと、天候左右が少ないこと等が挙げられる。

## 労働力の確保と人材育成

近年、新規雇用就農者は、若者で増えている。しかし、わかりやすい雇用活動につながっていない。今までJAと経済界が離れていた弊害だと思う。農業界は若手がいない状態であり、労働力確保が最も難しい。単純労働者は、季節性が強く安定性がない、時給が安い等の理由で確保が難しく、幹部候補生は、給料が低く上がらない等の理由から途中でやめる等、定着しないのが現実だ。大学の農学部を出て就農した人はほとんどおらず、農学部が農業を支える人材輩出の形態になっていない。農業高校の就職も、教師の一本釣り状態にあり、教育界との情報連携が大切と感じている。

人材確保のためには、農業界全体として、体系的な求人づくりや経営者の求人に対するノウハウの取得等、求人方法の確立が課題である。また、経営の中長期ビジョンの明確化や就労環境の整備等、雇用条件も整備していかないといけない。外国人就労者は年々増えていたが、この2年コロナ禍で日本に來れず、農業界はかなりの打撃を受けている。外国人材は、労働力の補充だけでなく、グローバル意識の向上や家族への思いやり等

の面で社員の人材育成に大きな効果があり、交流を深めるべきと考える。しかし、日本語の問題や文化、宗教の違い等から、見かけのグローバルで、本当の意味のグローバルさを逆に失っているのではないかと感じている。

## 持続的発展に向けて

農業は、今後、個人経営か、法人経営か、どちらの経営スタイルが日本農業の持続的発展につながるか国民的課題として検討が必要だと思う。問題は中山間地である。小規模で趣味的にやる等、農業参入のハードルを下げて守っていかないといけない。JAと経済界が近寄り、もっと真剣にどうしていくべきかお互いが考えていただけたらと思っている。

6次産業化は、生産、加工、流通の規模のバランスや連携のやり方等の課題があり、農業者が簡単にやれることではない。プロ同士の連携を進めるべきで、いろいろな分野の方々との連携が一番いいと考える。

今後、スマート農業が大きく貢献する時代は来るだろう。しかし、販売の場所が少ない、経営体規模が小さいために、総合的な支援施策が求められている。企業の農業進出は進むが、中間幹部的な人材は、農業を経験していないとできないため、最も不足すると思っている。農産物の輸出戦略はいいが、生鮮品は、高額で買える人は一部の層であり、それほど伸びないと思う。いずれにしても、農業界が産業化し、日本の食料を安定的に確保する大きな力となるには、まだまだ道のりは遠く厳しい。

## 終わりに

これからの日本農業の課題は、地方社会の急激な高齢化と衰退、農業者の経営意識の向上、1次産業として成り立つ経営の確立、国民の農業への理解である。特に日本は、農産物が安くて当然という意識が国民に蔓延している。安ければいいという状況では、農業の発展は難しい。国民全体として、農業という1次産業をどう守っていくかという意識を向上させるかが大きな課題ではないだろうか。



# 着ぐるみ工場のダイバーシティ経営 ～あたたかいキャラクターと幸せコミュニティを 生み続ける女子力の現場～

(2021年10月20日(水)西日本経済協議会第63回総会での講演)

### 働き方改善に向けた取り組み

当社では「向こう側」と「こちら側」、双方の笑顔を大切にしており、子供たち、アクター、顧客など自分たちの商品の向こう側にいる人たちはもちろん、製作に携わるスタッフ自身の幸福度を上げることを大切にしている。

この2つが実現できてきたのはこの10年程である。以前は顧客への使命を果たすためには自己犠牲もいとわず業務を遂行していたが、それではいけないと気づき、改革に取り組んだ。完全匿名のアンケートや1対1のトークブレイクを実施した結果、「時間外労働」「有給の取りづらさ」に関する意見が拳がったため、職場意識改善チームを作り、施策を実施した。その際、厚生労働省の職場意識改善助成金の取得を目標に掲げ、社内の機運醸成を図った。時間外労働については、現在はノー残業が当たり前になるまでに改善したが、これは社員自らが考え、職場の動線を変えるなど行動を変化させたことによるものが大きい。また有給の取得については「有給カレンダー」を活用し、各人の有給取得状況を「見える化」した結果、現在の有給取得率は70～90%の間を推移している。これらの改善は会社にも増益という形でメリットをもたらし、いかにこれまで残業代と土日出勤の拠出が会社の首を絞めていたかがわかった。

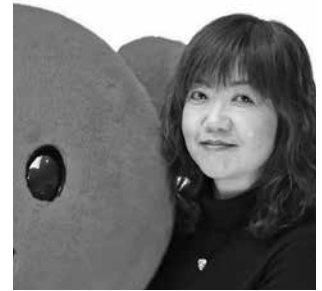
さらに、女性は会社自体に理由があって辞めるのではなく、それ以外の所に理由がある場合が多い。そのため各人の置かれている立場に合わせてコーディネートをする必要があるが、これは会社にとってとても面倒なことである。だが全て平等にするだけでは社員は幸せにはならない。与える側の平等ではなく、受け取り手が感じる平等を大事にしたい。

### 取り組みを宮崎県全域へ

自社の整備が整ったことで、この取り組みを宮崎県全域に広げたいと発起した。まもなくして県に「みやざき女性の活躍推進会議」

KIGURUMI.BIZ(株)  
代表取締役

加納 ひろみ



が立ち上がり、(株)宮崎銀行の平野亘也会長と私自身が共同代表となった。併せて今年設立された「みやざきSDGsプラットフォーム」のメンバーとしてもジェンダー平等に関する情報発信を行っている。

日本はグローバルジェンダーギャップ指数120位という事実がある中で、国や企業など外部主体で変わっていくことを求めるだけではなく、自分たちが行動を起こすべきだと考える。行動によって女性の生み出す経済力の底上げを図る活動の一つが「WEConnect INTERNATIONAL」である。このネットワークに入ることで、企業規模の大小に関わらず、大企業への間口が開かれる。

WEConnect  
INTERNATIONAL

米国発非営利団体。51%以上の株を1人以上の女性が保有し、実質的経営決定権が女性にある企業を認定し、会員である大手優良企業のサプライチェーンに引き合わせることを可能にする。会員バイヤーは認定企業からの年間調達額を公表するなどSDGs、ESGの目標達成を具現化する。日本では2018年にローンチ。KIGURUMI.BIZが認定企業の第一号。

### キャラクターには力がある

災害等の際、被災者に「がんばってね」と伝えることを無責任に感じることもあるかもしれない。しかし人間がダイレクトに伝えづらいメッセージも、キャラクターを通すとやわらかく伝えられる。熊本地震での「#くまモンあのね」、コロナ禍でのドラえもんの新聞広告「だいじょうぶ。未来は元気だよ」がその一例である。幸せは連鎖する。そしてそれを最初に生み出し、次に渡す存在がキャラクターであり、音楽やアート同様、言葉を使わず国境を越えメッセージを伝える存在である。

# コロナ禍におけるグローバル・バリューチェーンを取り巻く環境変化

石川 輝  
(株)国際協力銀行 (JBIC) 大阪支店次長  
(京都文教大学 総合社会学部 非常勤講師)

経済のグローバル化の進展により、多くの企業活動がグローバル・バリューチェーン (GVC) に組み込まれるようになり、中間財貿易や海外直接投資 (FDI) の拡大などをもち、GVCに関わる企業同士や国家間の相互依存関係は深化・複雑化しつつある。また、近年の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、ロックダウンや外出制限、物流面での混乱などを通じ、GVC参加企業の活動にも大きな影響を及ぼした。こうした中、本稿では、コロナ禍におけるGVCを取り巻く環境の変化について、若干の考察をすることとしたい。

## 1. GVC参加へのインセンティブ

1990年代以降、貿易自由化や輸送コストの低下、情報通信技術の進展などを背景に、さまざまな製品分野の生産工程が細分化され、国境を跨ぐ形での工程間分業 (フラグメンテーション) が広く行われるようになった。こうした国際分業を柱とする一連の価値連鎖としてのGVCには、先進国から開発途上国、大企業から中堅・中小企業、外国企業から進出先の現地企業まで多様なアクターが参加している。今や国際貿易の7割程度はGVCの中で行われていると言われており、その中心的な役割を果たしている多国籍企業は、世界全体の生産の3分の1を占めるなど、GVCを通じて効率性を最大限追求した経営を行い、生産性の向上を実現してきた。投資受入国 (ホスト国) にとってもGVCは、高い技術力の蓄積がなくても、細分化された一部の工程に参加する機会を与え、雇用創出や技術移転、製品輸出を通じた外貨獲得など成長の機会をもたらした。

世界銀行 (2020) は、GVCへの参加は標準的な貿易取引に伴う所得増加を大きく上回る効果をもたらし、雇用増加とも相俟って、参加国の貧困削減や成長へのプラス効果があるとしている。GVCへの参加については、要素賦存や地理的条件、市場規模などによっても左右されるが、貿易自由化や資本規制、税制優遇をはじめとする海外直接投資 (FDI) 誘致策など政策面の影響も大きい。一方で、GVCにおいては、全体のバリューチェーンの中で自

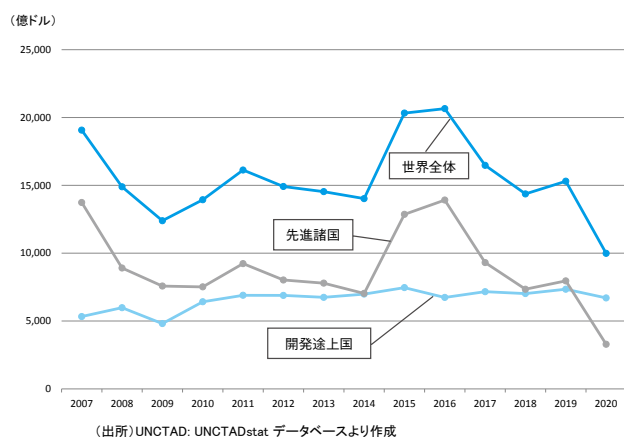
らがどのような役割を果たすのかによっても、得られるメリットが変わりうるどころ、いわゆる「スマイルカーブ」上の位置づけも主要な関心事項となる。

## 2. 世界の対内直接投資の動向

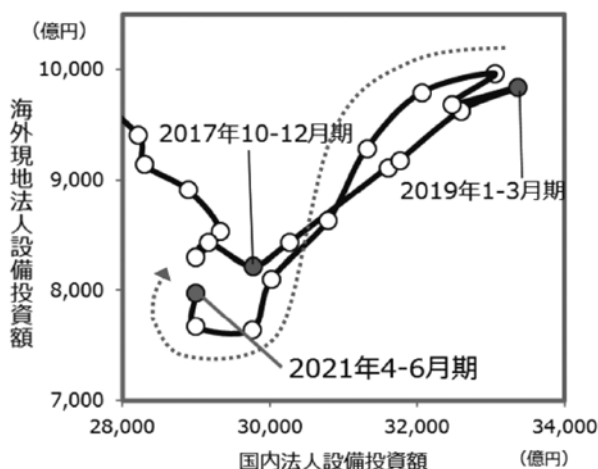
国連貿易開発会議 (UNCTAD) によると、2020年の世界の対内直接投資額 (フロー) は、各国でのロックダウンやコロナ禍による先行き不透明感から新規投資計画が見直されたこともあり、前年比35%減の9,989億ドルとなった (図表1)。中でも先進国向け投資の落ち込みが大きく、前年比59%減の3,285億ドルとなった (北米向けが前年比42%減、欧州向けが同78%減)。一方、新興・途上国向け投資は同9%減の6,704億ドルとなり、世界全体に占める割合は67% (前年は48%) と、先進国を逆転した。同年のクロスボーダーM&Aは金額ベースで前年比6%減、グリーンフィールド投資は同58%減、国際プロジェクトファイナンスは同18%減。なお、UNCTADは2021年の世界の対内直接投資額について、先進国向けが前年比15~20%増、途上国向けが同5~10%増となり、世界全体では同10~15%増となると見込んでいる。

世界の工業生産や貿易数量については、2019年末から2020年前半にかけて大きく落ち込んだが、各国におけるコロナ対策の進展や経済との両立を模索する動きなどもあり、2020年後半から回復基調にある。しかしながら、コロナ禍で大きく落ち込んでいた我が国製造業

企業の設備投資額については、2021年4～6月期になってようやく国内・海外共に増加に転じたが、コロナ前のレベルからは程遠く、未だ回復途上にある(図表2)。足許においても、世界的な半導体不足や海上輸送の混乱、アジアや欧州などの一部諸国での感染再拡大に伴う部品調達の制約、資源価格の高騰や中印などでの電力不足問題など、FDIやGVCに関わるボトルネックが解消されているとはいえず、依然として楽観視は難しい。



図表1 世界の対内直接投資額の推移(フロー)

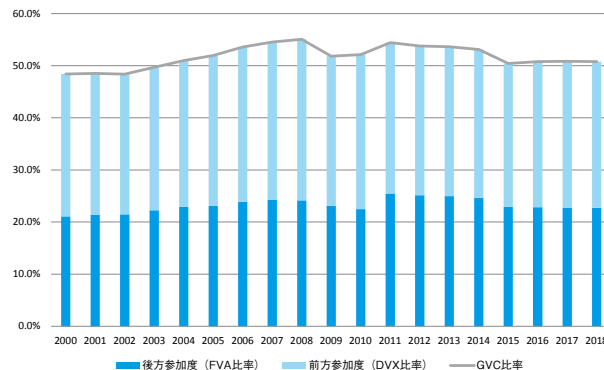


図表2 我が国製造業の国内・海外での設備投資額の推移

### 3. GVCの深化の度合い

GVCの拡大・深化は、特に1990年代から2000年代にかけて加速し、2008年の世界的な金融危機などを経て、2010年代に入るとやや停滞感が出ているが、それでも多くの国の企業を取り込み、FDIや中間財貿易の拡大につながってきた。GVCへの参加度合いについては、自国からの輸出品製造が、どの程度外国からの中間投入財(輸入)に依拠しているかという「後方参加度」(Backward Participation)と、他国の輸出品製造に対し、自国の輸出品がどの程度中間投入財として組み込まれているかという「前方参加度」(Forward Participation)により測ることが試みられている。この後方参加度は、自国源泉付加価値(DVA)と外国源泉付加価値(FVA)の合計である「自国の総輸出」に対する「外国源泉付加価値(FVA)」の比率、前方参加度は、「自国の総輸出」に対する「外国の輸出品に含まれる自国源泉付加価値(DVX)」の比率として表され、両比率の合計が「GVC参加度」として認識されている。

世界全体で見ると、1990年代から2000年代にかけては後方参加度は概ね20%台前半で推移する一方、前方参加度は20%から30%台前半まで上昇し、2010年代に入ると30%弱のレベルでほぼ頭打ちとなっている(図表3)。



図表3 世界のGVC参加度の推移



各国レベルで見ると、一般的にGVCへの参加当初は、輸入中間財の利用が増えて後方参加度が上昇するが、その後、自国の技術レベルや生産性の向上等が実現すると、輸出品の製造に係る中間投入財を徐々に国産化できるようになって(DVAの増加/輸入代替)、後方参加度が低下する傾向が見られる。一方で、自国の輸出品が他国の輸出品製造の投入財として多く用いられるようになると、DVXが増えるため前方参加度が上昇することになるが、労働集約的な完成品の最終組立工程への参加がメインであるような場合には、前方参加度はなかなか上昇しないケースも考えられる。

例えば、中国などは、2011年をピークに後方参加度は減少基調にある一方、前方参加度は上昇基調にあり、技術力の向上によって中間投入財の外国依存が低下するとともに、他国への中間投入財の供給力を高めることでGVCにおける影響力を拡大しているとも言えよう。一方、ベトナムについては、後方参加度は2011年を境に低下基調にある中、前方参加度も低位安定状態にあり、全体としてGVC参加度も低下傾向にある。

もっとも労働集約型産業の方が資本集約型産業よりも雇用創出効果は高い面もあるほか、輸出よりも国内市場がメインの場合には、元より前方参加度は上がりにくくなるとも考えられ、一概にこの比率の多寡のみで当該国のあるべき姿を決めつけることは適切ではないようにも思う。しかしながら、多くの途上国が一定のレベルまで達すると成長が鈍化する「中所得国の罠」からいかに抜け出せるかという点では、GVCにおける産業高度化についても意識していく必要はあろう。

#### 4. コロナ禍におけるGVCへの影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、従来の局地的な自然災害や特定工場の事故とは異なり、世界的な規模で人やモノの移動が制限され、業種によっては需要の大幅減少も見られたほか、雇用の減少、生産工程や物流などGVCのさまざまなステージに広範かつ長

期にわたって影響を及ぼすところとなった。まず、ロックダウンや外出禁止措置等によって生産活動の縮小や一時停止を余儀なくされたが、こうした生産活動の停滞は、GVCを構成する上流・下流双方の工程に波及し、物流面の混乱も相俟って連鎖的にその影響が伝播・拡大していくこととなった。

足許においても、世界的な半導体不足により、各国の自動車生産に大きな支障が生じている。また、世界的にワクチン接種が進み、経済活動が再開されつつある中、エネルギー需要の急増による需給ギャップを背景に石油や天然ガス、石炭などの資源価格が高騰し、中国やインドなどでは電力不足が顕在化するなどしており、これが現地での生産活動の停滞を通じ、GVCを構成する他国での生産活動にも波及することが懸念される。

需要サイドにおいても、飲食業や観光業など需要が急減した場合や、逆にマスクや消毒液など需要が急増した場合にも、GVCに混乱が生じることとなった。昨年生じたマスク不足に関しては、その後の中国での増産や異業種参入などにより徐々に解消していったが、結果的に供給過剰が生じたことは記憶に新しい。平時におけるジャストインタイムによる在庫圧縮や生産効率化は、急激な需給ギャップが生じた場合には、うまく機能しなくなるリスクを孕む。

さらにはコロナ禍において、多くの国が緊急的な対応として、医薬品や食料品などの重要物資の輸出制限を導入するといった動きも見られた。人命や健康の保護のために必要な措置である場合には、WTOルール上も一定の制限措置は許容されているが、コロナの蔓延がこうした経済安全保障に基づく制限措置の導入を助長した面は否めない。

#### 5. GVCの脆弱性と対応策の可能性

自国の製造業が外国からの輸入中間財に相当程度依存している場合(後方参加度が高い)や、そのサプライヤーが限られるような場合(代替調達先の確保が困難)、供給途絶により

生産活動に支障が生じる可能性が考えられる。他国の輸出品の中に自国からの輸出投入財が多く使われている場合（前方参加度が高い）、何らかの事情により必要なインプットの供給が適時にできなければ、他国の輸出品製造業者に対する安定供給の責務を果たせなくなる可能性がある。また、自社製品の輸出先（バイヤー）が限られる場合、川下のバリューチェーンにおいて需要が急減した際には、適時に代替販売先を見出せない可能性もあろう。バリューチェーンの「長さ」や「経路の複雑さ」によっても、リスクの程度は変わりうる。GVCの脆弱性は川上・川下双方のバリューチェーンにおいて潜んでいると言えよう。

かかる中、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株による「我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査」（調査実施時期：2020年12月）によると、「調達の見直しの一環として具体的にとった対策」という問いに対し、複数調達化（集中購買の見直し）、新規調達先の開拓、内製化、調達先国・地域の変更、調達先国・地域の分散化、国内調達への切り替えといった回答が上位を占めたが、国内生産回帰を志向する企業は限定的であった。JBICによる2020年度の「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告」（調査実施時期：2020年8～9月）においても、コロナ禍でのサプライチェーン関連での対応策についての問いに対し、国内生産拠点への回帰や海外拠点の他国への移転など拠点再編まで想定している企業は限定的であった。

こうした中、UNCTAD（2020）は、2030年までの10年間にグローバルな生産体制がとりうる選択肢として、①リショアリング（Reshoring）②多元化（Diversification）③リージョナリゼーション（Regionalization）④複製化（Replication）の4つを挙げている。リショアリングによる国内生産回帰については、コスト面等でのメリットを失う可能性も高く、上記のアンケート調査にもあるとおり、すぐにメインシナリオとして進んでいくとは考えにくい。多元化

やリージョナリゼーション、複製化といったオプションについては、各社ごとの状況によっては選択肢となりうると思われる。

2011年の東日本大震災やタイのチャオプラヤー川流域で起こった大洪水、2016年の熊本地震などでも、GVCの分断リスクが認識されたが、いずれも比較的早い段階で生産体制が復旧していったところ、今回のコロナ禍は、その影響が長期かつ広範に及んでいることから、多くの企業にとって自社が関わるGVCをいかにレジリエントなものとしていくかを強く意識する契機となったように思う。

## 6. まとめ

これまで見てきたように、近年、経済活動のグローバル化が進み、多くの国内外の企業がGVCの中でビジネスを行っており、各国政府を含むさまざまなアクターの間の相互依存関係がかつてない程に緊密化しつつある中、多くの企業にとって、レジリエントなGVCの構築は業務継続計画（BCP）の観点からも重要な課題となりつつある。

しかしながら、GVCの脆弱性の克服については、業種や製品ごとによってもバリューチェーンの参加者やチェーンの長さ／複雑さ、取引上の制約等も異なるところ、なかなか一般化はしにくい面もあると思われる。そうした中、まずは自社が潜在的に抱えている各種リスク（供給リスクや需要リスク、その他の業務関連リスク）の特定と評価を行うとともに、いかにそれらのリスクを管理（回避、軽減策の検討等）するかが重要と思われる。また、必要に応じDXも活用しつつ、バリューチェーン全体の見える化／透明性確保も重要ではないだろうか。

足許、バリューチェーン全体を見据えた脱炭素化や人権配慮、国家安全保障の観点からの取引制限など、企業が考慮すべき要素はますます多様化しつつあるところ、こうした点も含めて、レジリエントなGVCの構築を検討していくことが望ましいと考える。



## 会社紹介

日本唯一の地上戦により焦土化した沖縄で1950年代初頭、戦争の残骸である膨大な量の鉄スクラップ輸出の認可を琉球政府よりいただき、八幡製鉄所(現・九州製鉄所八幡地区)など日本の代表的な鉄鋼メーカー向けに輸出し、インフラを含め日本の高度成長に寄与することができたと思います。そして、その当時の輸出税は目的税として徴収され、県内の食料配給費に活用されたそうです。また、当時の同業者は今でも県内で、弊社の顧客でもある土木建設業などで活躍しています。

そのような環境の下、台風など亜熱帯の非常に厳しい自然環境にも耐えうる住宅を提供したいという創業者の思いから、65年前(1956年)に鉄筋の製造を始めました。伸鉄工場からのスタートでしたが、60年前(1961年)の電気炉導入により鉄筋のコストや品質また供給面で大きく改善しました。その後、2度の工場移転により、現在の場所に理想のレイアウトの工場を建設しました。1995年に300億円をかけた当時では最新鋭の製造施設でしたが、鉄鋼再編や鋼材価格低迷の影響でしばらく厳しい時期が続きました。

沖縄は島嶼圏のため、設備のメンテナンスや必要な部品など自己完結しなければならないことが多く、必要に応じて関連事業を立ち上げるなど、さらに再編を行う過程を経て、現在ではグループで8社1事業協同組合となっています。



#### 沖縄産の鉄製品 T-コン

ダイヤ節が特徴の鉄筋で、弊社の主力製品。

JIS規格のD10以上のサイズ、長さは3.5m~12.0mまで0.5m単位で取りそろえ、お客様の要望にお応えしています。

ダイヤ形の模様がついた鉄筋は、国内では弊社のみで、拓南製鐵オリジナルです。

## 会社概要

会社名	拓南製鐵株式会社
創業	1956年6月1日
代表者	代表取締役会長 古波津 昇 代表取締役社長 八木 実
事業内容	異形棒鋼、ねじ節鉄筋、生石灰、消石灰、溶接閉鎖型せん断補強筋、普通丸棒鋼製造販売
従業員数	190名(役員・臨時は除く)
本社所在地	〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番26
電話番号	098-934-6822
関連会社等	拓南本社(株)・拓南商事(株)・拓南製作所(株)・(株)西原グリーンセンター・拓伸商事(株)大阪・拓伸商事(株)福岡・(株)薩南物産・拓鐵事業協同組合 県内に5社1組合、県外に3社のグループ 8社1組合で「拓仲会」(拓南グループ)
ホームページ	<a href="https://www.takunansteel.co.jp/">https://www.takunansteel.co.jp/</a>

2023年でグループ創業70年となります。

これを機会に、改めて『鐵』にこだわった『ものづくり』を通して、地球環境に優しい百年企業を目指すべく基礎固めを強化します。そして沖縄の発展、九州の発展を念頭に置き、さらに『九州・沖縄』がアジアの中心に成長できる一翼を担う企業グループになれるよう精進します。

会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひします。



代表取締役会長 古波津 昇



# 沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)



ミス沖縄コバルトブルー  
山里ひかる

皆さま、はいたい♪ミス沖縄コバルトブルーの山里ひかるです。  
 今月は、世界遺産があることで有名な「首里城公園」をご紹介します。  
 日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けして  
 おります。ぜひチャンネル登録&いいねをお願いします！

■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら <https://bit.ly/2Fa1tIW>



新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に取り組んでいます！

## ～首里城公園～ (沖縄県那覇市首里金城町1-2)

2019年10月31日に首里城正殿を含む8棟が火災により被害を受け、現在、首里城公園では「見せる復興」として艶やかな姿を取り戻していくまでの再建の様子を公開し、さまざまなイベントを開催しています。首里城正殿などが焼失してしまいましたが、首里城公園には、曲線が美しく壮大な城壁、一つ一つ意味や形の違う門、多くの拜所、展望台から眺める美しい景色や琉球王国時代の歴史背景など、言い尽くせない魅力があります。



首里城焼失という悲しみに包まれましたが、それと同時に、首里城・沖縄が世界中の方々から愛されていることを知ることができました。その愛を受け、復興に向けて進んでいく現在の首里城の姿に私たちもたくさんの勇気や希望をもらいました。



復興に向かう今だからこそ、火災から焼け残った首里城復興のシンボルの存在である“大龍柱”や首里城正殿基壇遺構を間近で見ることができます。状況が落ち着き沖縄にお越しの際には、首里城公園にお越しいただき、復興に向けて力強く進んでいく首里城の姿をご覧ください。ただでさえ幸いです。



私たちのYouTubeチャンネル「ミス沖縄のおきなわ観光TV」では、「現在の首里城公園」の様子をご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



## 【今月のおススメ】サーターアングギー

沖縄で「サーター」とは「砂糖」のことをいい、「アングギー」が「揚げたもの」を意味します。中国の揚げ菓子「開口笑(カイコウシャオ)」から伝わってきたといわれており、球形の片側がサクッと割れていて笑顔のように見えることから、昔から結納の際にいただく縁起物として用いられてきました。

最近では、黒糖、かぼちゃ、紅芋、シークワサーなどが入ったさまざまな味のサーターアングギーを愉しむことができます。

沖縄にお越しの際にはぜひ召し上がってみてくださいね。



ミス沖縄紹介Webページ <https://www.ocvb.or.jp/activities/missOkinawa> も併せてご覧ください。



皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。



## 「旅の御朱印帳 九州駅印帳」開始しました(10/15～)

2021年10月15日(金)より、「旅の御朱印帳 九州駅印帳」をスタートしました。九州駅印帳は、九州の16鉄道をめぐり「駅印」を集めるスタンプラリーです。素敵な「旅の御朱印帳 九州駅印帳」を購入(2,750円/1冊)して、対象各駅の「紙の駅印」を集める方法の他に、ご自身のスマホに「MY駅印帳」を登録、対象駅ポスターのQRコードを撮影して集める方法があります。

九州の駅印を集めて、感動と物語をみてください。

**九州駅印帳** <https://www.welcomekyushu.jp/project/ekiincho/>

### 〈冊子は赤と緑の2種類〉



専用Webサイトで好評販売中

### 〈動画で紹介〉



九州駅印帳の楽しみ方を動画にしました

九州観光ポータルサイト「九州旅ネット」で  
旅行者に人気のモデルコースをご紹介します！

## ⑥ ハウステンボスと長崎市をめぐる2泊3日のロマンチック旅

このコースのエリア 長崎市 佐賀県	日数 2泊3日
おすすめシーズン 冬	家族旅行/グルメ



©HUIS TEN BOSCH



1,300万球のイルミが輝く「ハウステンボス」の「光の王国」と、世界新三大夜景のひとつに認定される長崎夜景を楽しむロマンチック旅。金曜日の仕事終わりからはじまる2泊3日の旅案内。

### START 1日目 長崎空港

▼ 車で70分 ▼

#### ① ハウステンボス

毎年、アツと驚く規模と演出を施した新イルミスポットが登場。今年は圧倒的な純白の輝きの「白銀の世界」に加え、たくさんのランタンや白銀のイルミが織りなす散道「白銀プロムナード」が誕生し、幻想的な空間に包まれる。

純白に輝くチャペルと、10,000個のクリスタルをまとうツリー。まるで冬のヨーロッパに訪れたかのような銀世界が楽しめる。一瞬にしてあたり一面白銀のイルミネーションに包まれる点灯式。今年はプロジェクションマッピングが加わり、さらなる感動をお届け！

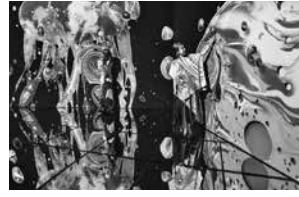




## START 2日目 ハウステンボス

### ② ハウステンボス

うっとりロマンチックな夜とは一転！ 昼のハウステンボスはアクティブに遊べるお楽しみワールド。なかでもVRで川下り体験が楽しめる「激流ラフティング」や最先端のテクノロジーを使った7つの光の体験ができる「光のファンタジアシティ」、さまざまな障害にチャレンジしていくスリル満点のアドベンチャー！「天空の城」など魅力の体験をぜひ。



▼ 電車で90分 ▼

### ③ 稲佐山展望台

日本各地に夜景名所は数あれど、長崎の夜景は立体的でダイナミック！ それもこれも、長崎湾を中心に山々が取り囲む“すり鉢”地形だからこそ。この迫力ビューは世界的にみても他にない！ということで、モナコ、香港と並ぶ、世界新三大夜景に認定されている。市内あちこちにビューポイントが点在しているが、おすすめは「稲佐山展望台」。アクセスしやすく、パノラマ感ある夜景が楽しめる。



▼ 車で20分 ▼

### ④ グラバー園

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産にも登録されている「旧グラバー住宅」をはじめ、9棟の伝統的建造物が点在するグラバー園。現在は旧グラバー住宅が保存修理工事中のため、一部見学ルートが変更となっている。



## START 3日目 長崎市

▼ 路面電車 ▼

### ⑤ 中華料理 四海樓

2019年で創業120周年を迎えた老舗中華料理店。「四海樓」といえば、ちゃんぽんの発祥店。初代が福建料理の「湯肉絲麵(とんにいしめん)」をアレンジしたのが始まり。丸鶏、豚骨、鶏骨を3～4時間かけて炊き上げる濃厚スープに、独特の風味とコシをもつ麺と野菜や魚介がたっぷり入り、錦糸卵が彩りを添えるのが「四海樓」流。明治・大正時代に出前に使っていた複製器で提供される蓋付ちゃんぽん(918円・税込)もある。



▼ 路面電車で10分 ▼

### ⑥ 梅月堂 本店

カスタードクリームをサンドしたスポンジ生地に生クリーム。その上には、蜜漬の黄桃とパイナップルがお決まり。これこそ、長崎っ子が愛するシースクリーム(シースケーキ)。昭和30年に老舗洋菓子店「梅月堂」が長崎で初めての生クリームを使ったケーキとして誕生させたもの。口どけのよいスポンジとコクのあるカスタード、軽やかな生クリームが絶妙マッチ。昭和が薫るスイーツは軽やかでどこか懐かしい味わい。



▼ 路面電車+車で90分 ▼

### ⑦ 嬉野温泉

日本三大美肌の湯のひとつに数えられる実力派温泉。トロトロ浴感の湯は、汚れや余分な皮脂を落として潤いを与える、シャンプー&リンスのようなダブルの働きをしてくれるという優れもの。オレンジ色のとんがり屋根をもつ公衆浴場「シーポルトの湯」のほか、お宿でも日帰りを楽しむことができる。入浴のあとは、美肌の女神様を奉る「豊玉姫神社」で美肌祈願をお忘れなく！



▼ 車で40分 ▼

## GOAL 長崎空港

九州観光推進機構のホームページ <https://www.welcomekyushu.jp> 「九州旅ネット」も併せてご覧ください。

【本件問い合わせ先】(一社)九州観光推進機構 (TEL: 092-751-2951)



# 地域 動向

九州・山口

## 山口 Yamaguchi



### 新たな産業を生み出す山口県の工業用水

「産業の血液」とも言われる工業用水は、企業の生産活動に欠かすことのできない重要な産業インフラの一つである。特に、山口県の工業用水は、自然が育む豊富で良質な水資源を背景に、三つのセールスポイントのもと、多くの事業者にご利用いただいている。

一つ目は、全国第一位、約173万トン/日の給水能力である。これは東京ドームの約1.4倍相当であり、企業の生産活動に必要な水を「たっぷり」供給できる。

二つ目は、良質な原水である。環境庁の「生活環境の保全に関する環境基準」において、上水道並みの水質となるAA～B類型に指定されており、さまざまな用途で利用できる「きれい」な水であることが特徴だ。

三つ目は、低廉な価格である。原水がそのまま供給でき、急峻な地形を利用して送水費用などを抑制できるため、山口県の工業用水料金の平均単価は全国平均の約半分と「安い」ことが売りである。

これらに加え、工業用水道管を新たに布設する際の初期投資について手厚い支援制度を3種類設けている。

第一に、給水に必要な引込管の設置を支援する制度だ。最大で工業用水道料金の3年分に相当する額を支援する。第二に、工業用水の新規受水に伴って受水設備を設置する場合に経費の一部を補助する制度だ。最大で工業用水道料金の1年分に相当する額を補助する。第三に、高レベルな水質を求める企業が新たに浄水設備を設置する場合に費用の一部を補助する制度だ。これは、全国に先駆けて設けた制度で、最大で設置経費の3分の1を補助する。

山口県の工業用水についてもっと知りたい方、興味のある方はホームページにアクセスまたはお気軽に山口県企業局にお問い合わせいただきたい。

#### 《問い合わせ先》

山口県企業局総務課  
TEL : 083-933-4015

山口県 工業用水



検索



## 福岡 Fukuoka



### 「福岡県中小企業生産性向上支援センター 生産性向上支援事例集」を作成！

福岡県では県内中小企業の実態に合わせた業務プロセスの改善や自動化による生産性向上の取り組みを伴走型できめ細かく支援している。

これまで200を超える企業を訪問し、さまざまな悩みを解決してきたセンターの支援事例を広く共有するため、今回、支援事例集を作成した。

本事例集は、業種もさまざまな12の企業における作業環境や工程の改善、設備導入による改善などの取り組み事例を紹介するとともに、支援を受けた企業や支援に携わったアドバイザーの生の声を掲載。センターのホームページ(下記)からダウンロードが可能。

ぜひ本事例集を生産性向上のヒントとしてご活用いただき、企業自らによる改善・改革などの取り組みにつなげていただきたい。

《問い合わせ先》  
福岡県中小企業技術振興課  
TEL : 092-643-3433  
[https://www.f-seisanseikojo.jp/assets/downloads/case\\_allpages.pdf](https://www.f-seisanseikojo.jp/assets/downloads/case_allpages.pdf)



## 佐賀 Saga



### 「関係するアート展」～心が震えるほど感動したことはありませんか？～開催

佐賀県では、障害のある人もない人も文化芸術を楽しむことができる社会の実現を目指し、障害のある作家のユニークで突き抜けた作品を、全国から集めた展覧会を開催する。

障害のある方の創作活動は、施設や家族、余暇活動など、何かしらと関係しながら生み出されるものが多い。また、企業とのコラボレーションによって、完成した作品が商品になることも増えてきている。

今回の展覧会では、絵画や立体、デザインなど80点以上の作品を一堂に展示。来場者の心を震わせ、感動を巻き起こす。

会期中には、障害のある作家が即興で絵を描くライブペイントやトークイベントも開催予定。来場者がショベルカーにペイントできるワークショップも開催する。

障害のある方の活動の裾野を広げ、豊かな生活や社会参加につなげていくことも目的のひとつである展覧会。ぜひ多くの方にご来場いただきたい。

#### 《開催期間》

2021年12月4日(土)～  
2022年1月23日(日)  
※休館日：月曜日(ただし月曜日が祝日の場合はその翌日)、  
12月29日、30日、31日

《会場》佐賀県立博物館 3号展示室

《入場料》無料

#### 《問い合わせ先》

佐賀県文化課  
TEL : 0952-25-7236



渡邊義紘  
「折り葉の動物たち  
(キリン)」

## 長崎 Nagasaki



### 県立松浦高校に新たな学科 「地域科学科(普通科)」が誕生!

長崎県教育委員会では、社会の変化などに対応した高校教育の改革に取り組んでいる。その取り組みの一つとして、国の制度改正などによる普通科改革を踏まえ、来年度、県立松浦高校に本県初の新たな普通科として「地域科学科」を設置する。

地域科学科では、これまで同様の普通科教育を基盤としつつ、松浦市や大学、地元企業などと連携・協働するプログラムも実践。生徒たちは、地域社会からさまざまな分野の知見を得て教養を深め、地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的な学びに積極的に取り組む。

これらの活動により、大学や社会などで求められる「自ら積極的に学ぶ力」「課題を発見し解決する力」「コミュニケーション力」などの資質・能力の向上が期待されるほか、地域や社会の未来を担うリーダーの育成を目指していく。



松浦高校が既に取り組んでいる地域課題解決型学習の一場面(地元企業との商品開発)

《問い合わせ先》

長崎県教育庁総務課

TEL : 095-894-3317

## 熊本 Kumamoto



### 阿蘇の観光復興キャンペーン 『I'm fine! ASO』実施中

熊本観光を代表する阿蘇地域は、平成28年熊本地震により道路や鉄道などのアクセスルートが甚大な被害を受けた。

2021年度は、阿蘇へのアクセスルートが本格復旧して初めてとなる観光シーズンを迎えることから、熊本地震からの復興をPRし、阿蘇の新たな魅力を感じていただけるような観光復興キャンペーン『I'm fine! ASO』を実施している。

“USOみたいなASO”をコンセプトに、阿蘇に不時着した宇宙人(通称:エイリアソ)が阿蘇の人々と生活する様子を描いた新Web動画『阿蘇の不時着』を公開。ネット上では「泣ける!」「阿蘇の緑と熊本弁が心に響く」「映画化希望」などのコメントがあった。併せて、動画のラストシーンに登場する巨大ミステ

リーサークルが、新たな観光スポットとして西原村(俵山交流館 萌の里付近)に出現し話題を呼んだ。

また、クレヨンしんちゃんの主人公・野原しんのすけのお母さん「みさえ」が、阿蘇市(作品中では“アソ市”)出身であることから、本年7月に「くまもとふっこう応援隊」に就任した野原一家が登場するデジタルスタンプラリーを実施するなど、幅広い層を対象に復興が進んだ阿蘇の魅力を積極的に発信している。



「クレヨンしんちゃん」デジタルスタンプラリー

<https://kumamoto.guide/aso2020/>  
《問い合わせ先》

熊本県観光企画課 TEL : 096-333-2332



## 大分 Oita



### 再生可能エネルギーで経営基盤 の強化を図る

大分県企業局が所管する大野川発電所は、1952(昭和27)年の運転開始以来60年以上が経過し老朽化が顕著となったことから、2018(平成30)年から約70億円の事業費を投じ、「発電所リニューアル事業」として全面改修工事を行ってきた。工事は今年12月に完了する見込みで、来年1月に完成式典が行われる。

リニューアル後は、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)による売電契約に移行し、20年間にわたり有利で安定的な収入が確保される見込み。

企業局は、「大分の豊かな水を活かし、地域を支える」という経営理念のもと、12の水力発電所と1つの太陽光発電所による電力供給と、低廉で良質な工業用水の供給を通して、県経済の振興や地域社会の発展に寄与してきた。今後ますます注目される再生可能エネルギーの開発・普及のためにも、老朽化した発電所の順次リニューアルなど積極的な投資を行い、長期的展望に立った経営基盤の強化を図る。最新の設備を備えた発電所やダム・浄水場などは施設見学も可能。申し込みは大分県ホームページまたは下記連絡先まで。

《問い合わせ先》

大分県企業局工務課

TEL : 097-534-6771

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/70300/sisetukengaku.html>







## 宮崎県長距離フェリー航路における新船「フェリーたかちほ」進水式

宮崎県長距離フェリー航路における四半世紀ぶりの新船となる「フェリーたかちほ」が、10月20日、広島県の因島にて進水式を迎えた。

宮崎と神戸を結ぶこの長距離フェリー航路は、新鮮な農畜産物をはじめとする県産品を大消費地に輸送するとともに、県外からの誘客を担う、極めて重要な航路であり、「本県経済の生命線」である。

このため、県内経済界や行政、関係機関による「オールみやざき」体制で、新船就航の後押しを行っているところである。

進水式では、全長190mを超える船体が、船台から力強く進水した。その迫力ある姿に、コロナ禍の今を明るく照らす希望の光を感じる。

新船は、来年春に就航予定で、その船名は、本県を代表する観光地であり、「日本神話ゆかりの地」として広く知られる高千穂町に由来する。また、ファンネル(煙突)には、これも日本神話「神武東征」に登場する霊鳥「金鷄(きんし)」が描かれる。

船内は自然に恵まれた南国宮崎をイメージした温かみのある内装となり、近年の旅行ニーズに対応した客室の個室化も図られ、ペットと共に宿泊できる部屋も新設される予定である。

また、トラック積載台数の増加により輸送能力の強化が図られ、物流業界のドライバー不足といった課題解決やモーダルシフトの推進につながることを期待している。

県では引き続き関係機関などと連携し、航路の維持に取り組んでいくこととしている。

この宮崎らしさを詰まった新船をぜひ、多くの方々に利用していただきたい。

《問い合わせ先》

宮崎県総合交通課 TEL : 0985-26-7038



を広く募集し、応募作品の内容を県民に広く情報発信することで空き家活用の促進を図ることをねらいとしている。

2回目の開催となった今年は、建築士や地域で活躍する住民団体・学生(大学生・高校生)など、多様なジャンルの方々から計24作品(アイデア部門16件、事例部門8件)の応募があった。応募作品については、本県のHPで紹介しているので、ぜひご覧いただきたい。

空き家の増加を抑制するためには、放置された危険な空き家を解体するだけでなく、使える空き家を使えるうちに有効活用していくことが重要である。これまで応募のあった空き家の有効活用策を広く情報発信していくことで、空き家活用の気運が醸成されることを期待したい。

《問い合わせ先》

鹿児島県住宅政策室 TEL : 099-286-3740



## 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録記念式典

2021年7月26日、ユネスコの世界遺産委員会にて「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産へ登録され、日本の自然遺産登録は約10年ぶり、5件目となった。

これらの地域は、固有性の高い生態系を形成し、生物多様性が極めて高く、多くの固有種の生息・生育地となっている。代表的なものとしてヤンバルクイナ、リュウキュウヤマガメ、イリオモテヤマネコ、アマミノクロウサギなどがあげられる。

この貴重な自然環境を次世代へ継承するため、沖縄県が取り組むSDGsの精神に則り、国、関係機関と連携し、世界自然遺産にふさわしい持続可能な地域づくりに取り組む決意のもと、11月19日に沖縄県主催により世界自然遺産登録記念式典を沖縄空手会館で行った。

式典当日は、照屋義実副知事が「世界自然遺産登録地の環境保全と地域・経済振興の両立を進めるとともに、次世代へしっかりと継承するよう取り組む」と玉城デニー知事の挨拶を代読した。また国、鹿児島県、関係市町村、その他関係者にも臨席いただき、鹿児島県の塩田康一知事よりお祝いのメッセージをいただいた。

式典内では、沖縄県世界自然遺産大使任命式も行われ、任命された仲間由紀恵さん、夏川りみさん、知花くららさん、HYさん、りゅうちえるさんが大使就任にあたっての抱負を述べた。

《問い合わせ先》

沖縄県自然保護課  
TEL : 098-866-2243



## 空き家を地域の宝に！ ～かごしま空き家活用コンテスト～

総務省が実施した「平成30年住宅・土地統計調査」によると、鹿児島県の空き家率は19%と全国に比べて高く、特に居住目的のない空き家率は12%と、全国で2番目に高い値となっている。

本県では、空き家対策に取り組む市町村を支援するため、市町村職員向け研修会を開催するとともに、弁護士や司法書士などの専門家派遣を行っているほか、今年は一昨年に続いて「かごしま空き家活用コンテスト」を開催した。

このコンテストは、『空き家を地域の宝に!』をキャッチフレーズに、空き家を移住者向けの住まいや地域の交流施設等として活用する等のアイデアや事例



## 紅葉が映える山々と雲仙地獄 (長崎県)

山あり海あり温泉あり、長崎県雲仙市は三拍子そろった観光地で、大自然を五感で味わう旅が楽しめます。硫黄の香りに包まれた雲仙温泉の雲仙地獄では、激しく噴気を上げる大叫喚地獄や、鳥のさえずりのように聞こえる雀地獄など、多種多様な自然美がお出迎え。裸足で地熱や噴気を体感できる休憩所もあり、蒸気で蒸された温泉卵に舌鼓を打てば心も満足。周りの山々は四季折々に表情を変え、秋は赤や黄色に染まり、冬は霧氷で白く雪化粧。訪れるたびに違った顔を見せてくれます。

楽しみは昼だけではありません。ナイトツアー「湯にも地獄の物語」では、ちょうちんの灯りだけを頼りに闇の中を語り部とともに地獄を散策。時に軽妙に、時に重々しく語られる地獄の伝説や昔話に、参加者はおっかなびっくり。昨年からは始まった同ツアーは、夜型観光として注目されています。

今年8月の豪雨により、地獄の一部が土砂に埋もれてしまいましたが、源泉は復旧して周辺旅館へも温泉が供給されています。被災前よりも元気に湧き出す源泉の蒸気は、まさに大地の息吹そのもの。日本初の国立公園で自然のたくましさを感じつつ、「生きる力がよみがえる雲の上の避暑地」へ足を運んでみませんか。



「湯にも地獄の物語」ツアー

《問い合わせ先》

雲仙温泉観光協会 TEL : 0957-73-3434

### スケジュール (12月)

日(曜)	会合名等
1日(水)	顧問会(東京都・ホテルオークラ東京)
6日(月)	セキュリティ技術者(実務者)向け勉強会(福岡市・九経連)
10日(金)	農林水産委員会企画部会現場視察会(福岡県久留米市・筑後市・農研機構 筑後・久留米研究拠点)
13日(月)	第14回沖縄連携フォーラム(那覇市・沖縄ハーバービューホテル) シンポジウム「新幹線を活かす地域づくり」(福岡市・電気ビルみらいホール)
14日(火)	行財政委員会第5回自立型広域経済圏モデル検討WG(福岡市・九経連)※Web併催
16日(木)	先導的ICT人材育成事業インターンシップ第25回成果報告会(福岡市・TKPガーデンシティ博多)※Web併催
20日(月)	九州IRシンポジウム(福岡市・ホテルニューオータニ博多)
21日(火)	行財政委員会第2回企画部会(福岡市・九経連)※Web併催
28日(火)	事務局仕事納め(1月4日(火)仕事始め)

### 新入会員企業(10月)

#### 東京九州フェリー(株)

代表取締役社長 小笠原 朗

福岡県北九州市門司区新門司北3丁目1-30 TEL : 093-330-3000

事業内容: 水運業

#### (株)ブランドゥ

代表取締役社長 藤原 邦彦

山口県下関市唐戸町3-8

TEL : 083-242-8001 従業員数: 90名

事業内容: 施設管理業務、指定管理業務、飲食事業

#### (株)マイスターエンジニアリング

代表取締役社長 平野 大介

東京都港区芝4丁目1-23

TEL : 03-6756-0311 従業員数: 1,043名

福岡事業所長 杉山 聡

福岡市博多区博多駅前3丁目4-25

TEL : 092-419-7033

事業内容: 半導体製造装置、各種メカトロ機器および建築設備のメンテナンス&エンジニアリングならびに太陽光発電システムの施工・メンテナンス、施工技術者の育成、省エネ・環境関連事業における技術サービス、コンサルティング等

◆九経連ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

◆九経連メールアドレス [info@kyukeiren.or.jp](mailto:info@kyukeiren.or.jp)

月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。